

滋賀・びわ湖ブランドの推進について



1

1. これまでの取組

◆「個別商品・サービス」におけるブランド力の向上・発信

①「食」におけるブランド力の向上

- ・近江米、近江牛、近江の茶、湖魚、近江の野菜などの県産食材の販路拡大、魅力発信
- ・「おいしが うれしが」キャンペーンの展開
- ・環境こだわり農産物の生産拡大およびPR、発信による知名度向上
- ・地酒の祭典・10,000人乾杯プロジェクトの実施 など

自然がおいしい、心がうれしい。



やっぱり地のもんがええなあ

②「観光」におけるブランド力の向上

- ・「ビワイチ」の推進
- ・「日本遺産 滋賀・びわ湖 水の文化ぐるっと博」など、「滋賀ならではの」の特色あるツーリズムの展開
- ・滋賀の観光に対する認知度の向上を図り、来訪を促す取組の推進 など



2

1. これまでの取組

③「技術」等におけるブランド力の向上

- ・ 地場産品の販路拡大、認知度向上、海外展開
- ・ びわ湖環境ビジネスメッセの開催
- ・ 「ココクール マザーレイク・セレクション」の選定、発信 など



④「県民の取組」等による地域ブランド力の向上

- ・ 子ども食堂の取組など、県民主体の地域福祉活動
- ・ 「びわ湖の日」の取組やヨシ刈りなど、県民主体の環境保全活動
- ・ 神と仏の美、近代・現代美術、アール・ブリュットなど、地域によって受け継がれてきた滋賀の文化を発信する「美の滋賀」づくり
- ・ S D G sの取組 など

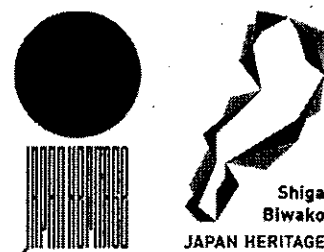


3

1. これまでの取組

⑤琵琶湖の価値の再発見・発信

- ・ 日本遺産～琵琶湖とその水辺景観
— 祈りと暮らしの水遺産 —
- ・ 琵琶湖保全再生法による「国民的資産」の位置づけ
- ・ 琵琶湖周航の歌100周年
- ・ 「うみのこ」リニューアル
- ・ 琵琶湖博物館リニューアル など



4

1. これまでの取組

◆「滋賀・びわ湖」のイメージの包括的向上・発信

①県民意識の醸成・場の形成

- ・ 滋賀・びわ湖ブランド展の開催
- ・ 地域の資源や価値に焦点を当てた県政情報の発信（県政番組「しがのイチオシ！」）
- ・ 県民が琵琶湖の価値や魅力を学べ、体験できる取組（琵琶湖博物館など） など

②おもてなしの向上と人づくり

- ・ 都市部の修学旅行の受入れなど、農村民泊体験の推進
- ・ 観光ボランティアガイドの育成
- ・ 環びわ湖大学・地域コンソーシアムの地域連携事業を通じた大学生による地域の魅力発見や地域資源の発掘 など

5

1. これまでの取組

③地域資源の再発見

- ・ 「MUSUBU SHIGA ～滋賀・びわ湖+DESIGNプロジェクト～」による地域の魅力の再発見
- ・ 「人口減少を見据えた豊かな滋賀づくり」による地域創生の取組 など

④効果的な発信

- ・ 滋賀の戦略的県外PR事業の展開
- ・ 滋賀ふるさと観光大使など、滋賀ゆかりの著名人による滋賀・びわ湖の魅力発信
- ・ 民間企業との包括連携協定の推進
- ・ 知事のトップセールス など

6

2. 滋賀・びわ湖ブランド推進の目指すところ

滋賀のモノ、コト、暮らしが 全国・世界から選ばれる

- ✓ 滋賀の産品が売れる
- ✓ 滋賀への観光客が増える
- ✓ 滋賀への移住が増える
- ✓ 滋賀での企業の立地が増える
- ✓ 県産農畜水産物の消費が増える
- など



滋賀・びわ湖ブランドの 価値を高める

7

3. 滋賀・びわ湖ブランド推進の3本柱

滋賀・びわ湖ブランドを戦略的に進めるため、次の3つの柱で取り組む。

1 個別ブランドのブランド力 向上

維持・向上

これまで築いてきたブランドの
さらなる強化

育 成

魅力や素材の磨き上げによる
ブランドの育成

素材発掘

ブランドの原石となる魅力や
素材を発掘

3

好循環の創出

個別ブランドと滋賀の認知度向上
の好循環により、それぞれを高めていく

2

滋賀の認知度・好感度・発信力 向上

- ・滋賀の地域イメージの強化
- ・県外向け情報発信の強化
- ・滋賀の強みの「見える化」

さらなる認知度向上

さらなるブランド力向上

8

4. 今後の重点的取組①

「個別商品・サービス」におけるブランド力の向上・発信



個別ブランドの発掘・磨き上げをさらに推進！

→各分野において、新たなブランドの開発や、商品・サービスの付加価値、競争力の一層の向上等を図る

- ・首都圏、京阪神での「食」の魅力発信
- ・県産農畜水産物等の輸出促進
- ・地理的表示（G I）保護制度等の活用促進
- ・「ビワイチ」による地域の活性化
- ・滋賀の強みや県民主体の取組をブランディングの視点で発信 など

→地域資源に関する職員アンケート結果等を活用したブランドの発掘・磨き上げを図る

9

4. 今後の重点的取組②

「滋賀・びわ湖」のイメージの包括的向上・発信



「滋賀・びわ湖」をより戦略的に発信！

- ・各分野の事業の効果的な組み合わせによる発信力の最大化
- ・インスタグラムなどSNSの活用による滋賀の魅力発信（県庁力の活用）
- ・図柄入りナンバープレートの導入
- ・市町、民間との連携による、さらなる「滋賀・びわ湖」の発信
- ・県シンボルマーク「Mother Lake」の活用促進、「滋賀・びわ湖」の名称使用

（事例）



虹色の旅へ。
滋賀・びわ湖

平成30年度 滋賀県大型観光キャンペーン テーマ

- ・滋賀のもつ様々な強みを「見える化」し、効果的に発信
- ・滋賀・びわ湖ブランドのK P I 設定による施策の整理と効果的な実施

など

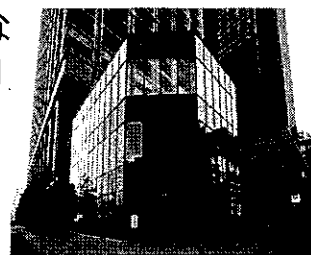
10

4. 今後の重点的取組③

情報発信拠点「ここ滋賀」の運営

→「ここ滋賀」を核とした発信と滋賀への誘引

- ・ 庁内や各市町、団体等との連携による、滋賀の多様な魅力の発信、滋賀を体感できる場として総合的なプロモーション
- ・ 新たな滋賀の顧客の獲得と、滋賀への誘引



→首都圏におけるネットワークの強化

- ・ 滋賀ゆかりの人や企業のネットワーク、新たに滋賀とつながる人等の活用による、首都圏での滋賀ファンの裾野拡大と営業活動の強化



「ここ滋賀」の効果の最大化！

- ・ 来館者満足度と出店事業者満足度との両立

11

4. 今後の重点的取組④

滋賀・びわ湖ブランドの推進体制



滋賀・びわ湖ブランド推進に向けた連携強化！

→各分野でのブランド関連事業が効果的に実施されるよう、
関連事業の把握および調整を徹底

- ・ 事業間の効果的な連携を図る
- ・ 各分野の事業の効果的な情報発信を図る
- ・ ブランドのK P Iを全庁で共有し、各施策のヒモ付けにより整理する

【参考】平成29年度 決算特別委員会 委員長報告(抜粋)

平成28年度には、各部局で滋賀ブランドのPR事業が実施されたところであるが、各部局のブランド戦略の連携において課題が見えたことから、滋賀のブランド力を上げるためには、総合力を発揮して不断の努力を行う必要がある。

12

平成30年度 滋賀・びわ湖ブランド関連 当初予算案

(1) 食

近江の地酒普及促進事業	4,222千円	観光交流局
首都圏「滋賀の食材」プロモーション・流通促進事業	18,173千円	食のブランド推進課
FOOD BRAND OH! MI 海外プロモーション事業	10,269千円	食のブランド推進課
「おいしが うれしが」キャンペーン推進事業	3,189千円	食のブランド推進課
もっと食べよう「近江米」！県民運動推進事業	4,700千円	食のブランド推進課
「おいしが うれしが」食のおもてなしプロジェクト実践支援事業	4,743千円	食のブランド推進課
「オーガニック・環境こだわり農業」推進事業	7,500千円	食のブランド推進課
滋賀の健康を支える『食』創造事業	5,536千円	食のブランド推進課
みんなが育てる「みずかがみ」ブランド支援事業	15,984千円	食のブランド推進課 ／農業経営課
「近江の茶」オーガニックブランド産地育成事業	3,850千円	農業経営課
近江牛魅力発信事業	5,057千円	畜産課
「近江牛」ブランド力磨き上げ事業	4,448千円	畜産課
びわ湖のめぐみ消費拡大PR事業	19,346千円	水産課

13

(2) 産業

びわ湖材産地証明事業	4,185千円	森林政策課
滋賀のくすり振興対策費補助金	5,216千円	薬務感染症対策課
体感型「ココクール」魅力発信事業	5,730千円	商工政策課
滋賀の感性を伝える「ココクール」事業	3,231千円	商工政策課
伝統の技と美「滋賀の匠展」開催事業	1,973千円	中小企業支援課
伝統的工芸品月間等参加事業	3,043千円	中小企業支援課
伝統的工芸品新商品開発等支援事業	3,273千円	中小企業支援課
きらり輝く個店★企業応援事業	7,238千円	中小企業支援課
来て、見て、ふれ「メイド・イン滋賀」魅力発信・体感事業	5,970千円	モノづくり振興課／ 中小企業支援課
滋賀の地域産業振興総合支援事業	24,899千円	モノづくり振興課
地域ブランド戦略フォーラム事業	770千円	モノづくり振興課
立地フォーラムの開催事業	3,511千円	企業誘致推進室
「世界農業遺産」プロジェクト推進事業	10,000千円	農政課
「日本一の環境こだわり農業」発信事業	5,700千円	食のブランド推進課
琵琶湖とつながる生きもの田んぼ物語創造プロジェクト	3,549千円	農村振興課
しがの里をめぐるものがたり応援事業	650千円	農村振興課

14

(3) 暮らし・歴史・文化 等

移住・交流推進事業	20,592千円	市町振興課
近江文化発見・発信事業	1,830千円	文化振興課
美術館広報・マーケティング事業	5,500千円	文化振興課
みんなで創る美術館プロジェクト事業	27,212千円	文化振興課
地域の元気創造・暮らしアート事業	10,200千円	文化振興課
アール・ブリュットの魅力発信事業	4,270千円	文化振興課
しがスポーツの魅力総合発信事業	7,500千円	スポーツ局
新琵琶湖博物館創造推進事業	27,950千円	環境政策課(琵琶湖博物館)
「びわ湖の日」活動推進事業	15,118千円	琵琶湖保全再生課
県内大学生等への琵琶湖体験の機会提供	884千円	琵琶湖保全再生課
エコツーリズム推進支援事業	3,800千円	琵琶湖保全再生課
貢献量評価活用促進事業	2,775千円	温暖化対策課
障害者芸術・文化活動推進事業	34,700千円	障害福祉課
糸賀思想の発信	0千円	障害福祉課
しがIJU相談センター情報発信事業	5,362千円	労働雇用政策課
「戦国の近江」地域の魅力発信事業	1,300千円	文化財保護課
「彦根城」世界遺産登録推進事業	400千円	文化財保護課

15

(4) 観光

プロスポーツを活用した滋賀の魅力発信事業	10,300千円	スポーツ局
「ビワイチ」安全・安心な自転車利用促進事業	23,800千円	交通戦略課
日本遺産・琵琶湖魅力発信事業	4,100千円	観光交流局
国際観光推進事業	21,710千円	観光交流局
首都圏観光営業推進事業	1,900千円	観光交流局
観光キャンペーン推進事業	134,800千円	観光交流局
観光物産情報発信事業	33,691千円	観光交流局
ビワイチ観光推進事業	6,749千円	観光交流局
サイクルツーリズム推進事業	13,068千円	観光交流局
地域観光活性化支援事業	14,000千円	観光交流局

(5) 発信と滋賀への誘引

滋賀の魅力体感創造事業	76,000千円	東京本部・広報課
情報発信拠点運営事業	125,125千円	東京本部・広報課
首都圏ネットワーク活用事業	12,299千円	東京本部・広報課
県域無料Wi-Fi整備促進事業	8,059千円	情報政策課

全60事業

予算額合計 850,949千円

16